

A vibrant illustration of a forest scene. In the upper left, a large tree trunk with green leaves frames a red lantern hanging from a branch. In the upper right, a yellow hammock is strung between trees. In the lower right, a red and black tent is pitched among green plants. The background is a bright blue sky with soft white clouds and a sunburst effect in the top center.

“森の恵み”と“木の温もり”を五感でふれて、癒されよう！
～「森で遊ぶ」「森で学ぶ」「森での健康づくり」で、「Forest Style」をはじめよう～

「みどりとふれあうフェスティバル」

第31回(2022年度)森と花の祭典ー「みどりの感謝祭」式典併催行事

ご出展・ご協賛のご案内

日 時 : 2022年5月14日(土) 11:00～17:00
5月15日(日) 10:00～16:00

場 所 : 東京都立木場公園(江東区)

主 催 : 農林水産省・林野庁
東京都
(公社)国土緑化推進機構
(一財)日本緑化センター
(一財)日本森林林業振興会
(公財)東京都農林水産振興財団東京緑化推進委員会

● 森と花の祭典－「みどりの感謝祭」の開催経緯と構成

森と花の祭典－「みどりの感謝祭」は、健全な青少年の育成や地球温暖化防止にも資する緑化運動の推進を目的として、1990年から東京都内において開催してきており、2005年からは「みどりの月間」(4月15日～5月14日)中に実施される各種緑化行事の締めくくり行事として、5月の第2土・日曜日に開催しています。

本祭典は、緑や森林に関して顕著な功績のあった方の顕彰などを行う「式典」と、多様な民間団体等の参画を得て実施する「みどりとふれあうフェスティバル」から構成されます。

森と花の祭典－「みどりの感謝祭」

式典

みどりとふれあう
フェスティバル

● 「みどりとふれあうフェスティバル」の開催趣旨

- 近年、自然志向やアウトドア志向、さらにはエシカル志向・つながり志向などが高まり、自然と共生するライフスタイルを求める人々が増えています。
- また、2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」への注目が高まる中で、国連は17目標のうち14目標は「持続可能な森林管理・利用」を通して貢献できることを提示しており、SDGsの“統合的実施”の観点からも、森林の役割の重要性が高まっています。
- こうした中で、各々のライフステージ・シーンにおいて森林とのふれあいや森の恵みを採り入れていくことで、健康的・文化的で心豊かな暮らしを育むとともに、地球環境と地域社会の持続性の向上にも貢献することを目指す新たなライフスタイル「Forest Style」のニーズが高まってきており、「地方創生」や「林業の成長産業化」に向けて、それらの多様な生活者を意識したサービスを、森林分野と教育・健康・観光分野が連携・協働して、地域内で複合的に生み出す、いわゆる「森林サービス産業」の創出に向けた取組も開始されています。
- 本フェスティバルは、毎年、子育て世代の若いファミリーを中心に、都市で暮らす方々に多数ご来場頂き、みどりの恵みや木の温もりを、実際に見て、ふれて、体験することで、多彩なみどりや木の魅力と、新たな「森の遊び」、「森の学び」、「森での健康づくり」を採り入れたライフスタイルを体感的に理解いただくとともに、農山村地域の地域づくりの担い手や農林水産品の作り手と、都市の方々がつながる場として好評を博しております。
- そこで、本年も多くの企業・団体の皆様のご出展・ご参加を頂くことで、多くの都市に暮らす人々に農山村地域を訪れたり、森林とふれあったり、暮らしの中に木製品を取り入れたり、森づくり活動に参加・協力するなどの行動を呼びかけ、森や木とつながる新たなライフスタイルを提案したいと考えています。
- 是非、本企画の趣旨にご賛同いただき、ご出展・ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

- 名 称 令和4年度（第31回）森と花の祭典ー「みどりの感謝祭」式典及び併催行事「みどりとふれあうフェスティバル」
- 開催テーマ 感じよう みどりの恵みと 木のぬくもり
- 開催日 2022年5月14日（土） 11:00 ～ 17:00 15日（日） 10:00 ～ 16:00
- 会 場 東京都立木場公園（江東区） 入場無料
- 主 催 農林水産省・林野庁、東京都、（公社）国土緑化推進機構、（一財）日本緑化センター、（一財）日本森林林業振興会、（公財）東京都農林水産振興財団東京緑化推進委員会
- 協 賛(予定) 緑化・花き関係団体、一般企業等 約60団体、46道府県
- 出展規模 50者(企業、林業団体・地方公共団体等、NPO・学校等、協力団体)
- 来場者見込 約3万人以上

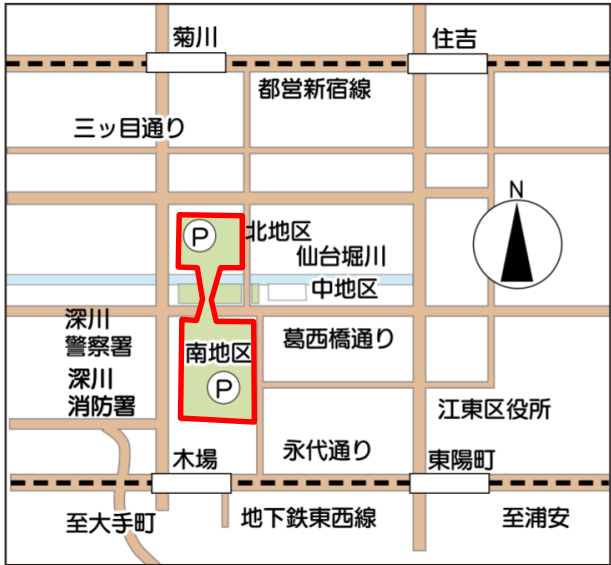
【会場へのアクセス】

■ 電 車

- 東京メトロ東西線「木場」下車 徒歩10分
- 都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」下車 徒歩15分
- 都営地下鉄新宿線「菊川」下車 徒歩15分
- 都営バス東京スカイツリー新橋（業10）「木場四丁目」または「東京都現代美術館前」下車

■ 自動車

駐車場（第一駐車場104台（普通車・大型車）、第二駐車場30台（普通車のみ））



本フェスティバルは、さまざまなPR機会としてご活用いただけます。

- 本フェスティバルでは、新生活がはじまり、新緑が美しい5月という絶好のタイミングに、都会のオアシスである木場公園を舞台に、子育て世代の若いファミリーをはじめとした来場者に、貴社/団体の製品・取組や貴地域の魅力に関するPR活動の機会として活用いただけます。
- 特に、農林水産省・林野庁や都道府県、森林・林業・木材・緑化・花き業界関係者、生物多様性や山の日を含めた関連分野の関係者に加えて、教育・健康・観光分野と連携・協働した新たな森林空間の総合利用を進める、いわゆる「森林サービス産業」の創出に向けた取組が進められていることを踏まえて、教育・健康・観光分野への出展を呼びかけています。
- こうしたことから、このような関係者が一同に会する本行事は、業種や地域を超えた出展者・来訪者同士の交流や情報交換の機会として最適です。
- さらに、全国的緑化行事の1つであり、「みどりの月間」のフィナーレとして開催される「みどりの感謝祭」式典の併催行事である本フェスティバルへの出展により、全国的な機運の醸成と一体となることで、効果的な企業ブランディングやPR活動にもお役立て頂くことができます。

森林・農山漁村を舞台にした 観光・アウトドア等のPR

インバウンドに加えて、自然と共生するライフスタイルの志向の高まり等から関心の高まる森林・農山村を舞台にした観光・アウトドア。「農泊」（農山漁村体験型旅行）をはじめとして、多様な切り口から、広く都会の来場者に特色ある地域の森林・農山漁村の魅力をPRできます。

農山漁村の恵み・地域の魅力 のPR～地方創生～

多くの来場者に、「顔の見える」関係を築きながら、地域の特産品から地域の魅力について発信することができます。

企業等のSDGs(持続可能な開発目標) への貢献に向けた取組のPR

自然資本の中核をなす“森林”“木材”を題材にしたSDGsの取組は、「持続可能な社会の実現のために不可欠な活動です。」「企業の森」や「木づかい」をはじめとして、統合的実施が行いやすい企業等によるSDGsの取組を広くアピールできます。

森林での教育・健康づくり等 のコンテンツのPR

これまでも「森林セラピー」「森ヨガ」「森のようちえん」等の体験プログラムを実施してきました。「森林サービス産業」の取組を受けて、関係業界団体と連携して、森林での教育・健康づくりに関わる取組団体への出展の呼びかけと、来場者の更なる呼びかけを拡充していきます。

木製家具・雑貨や 木造住宅等の魅力のPR

住宅・木材需要の主要層の子育て世代が来訪するため、木造住宅から木製家具・雑貨などのテストマーケティングやPRの機会として活用頂けます。

木場公園の自然環境やステージを活用して、魅力的なプログラムを展開します。

- 都会に暮らす多くの人々にみどりや木の魅力を体感的に訴求する観点から、子育て世代等を対象とした多様なプログラムを展開します。
- 行政や連携団体等有する多様な媒体等を用いた告知・PR（次頁参照）と魅力的なプログラムでターゲット層の着実な集客を促進します。

（参考）2019年度の実績

自然を満喫!! 充実の体感プログラム!

【キッズ向けプログラム】

- ・ ツリークライミング体験
- ・ 小さな森探したんけん隊（森のようちえんプチ体験）
- ・ 富良野自然塾「46億年・地球の道」プログラム
- ・ フォレストアドベンチャーの体験版「モバイル・ターザニア」
- ・ 秋田杉の積み木で遊ぼう
- ・ 森と木の子育てひろば
- ・ 土のパステル「Dopas」でお絵かきしよう!

【大人も楽しいプログラム】

- ・ 森の力がこころと身体を癒す「森林セラピー」
- ・ 新緑のフラワーセラピー「森のグリーンプーク作り」
- ・ おうちで育てる～小さな森のテラリウムを作ろう～
- ・ 日本産の天然精油を体感できるハンドトリートメント
- ・ 森とつながるヨガの時間～都会の森編～



多様なアプローチにより幅広い来場者を確保します。

① 多様な告知・PRの展開

主催者が有する行政関係ルートや関係・連携団体が有する多様な施設・媒体を活用することにより、多様なチャンネル・媒体で幅広い告知・PR活動を展開します。

【期間】 2022年4月以降順次

【告知予定】

- ・ 行政関係機関でのポスター掲出やチラシ配布
- ・ 都内の学校・幼稚園・保育園等へのチラシ配布
- ・ 「みどりの日」の無料開放等を行う公園・施設等におけるポスター掲出やチラシ配布
- ・ 出展・協賛団体と連携した告知・PR



(2019年度 当日配布パンフレット)

② 環境イベント等と連携した告知

「みどりの月間」に開催される各種環境イベント等と連携して、ポスター掲出・チラシ配布などを行い、環境・自然関心層に本フェスティバルを幅広く告知します。

【連携イベント】

- ・ ラジオパーク in 日比谷公園2022 (4月22日(金)～23日(土))



※ この他、企業・団体等と連携して従業員等への参加の呼びかけをするなどで、本フェスティバルの来場促進等を行います。

その他、Facebookをはじめとして、様々な方法で広報します。

● 会場レイアウト図

◎ イベント広場周辺で「みどりとふれあうフェスティバル」を開催するとともに、周辺の森の中で、来場者が楽しめるさまざまな催し物を実施します。



出展料(消費税込)	1小間	2小間	以降、1小間追加ごと
学校・NPO法人等の非営利活動団体（※1）	33,000円	66,000円	+ 33,000円
都道府県・市区町村等行政機関及び公益法人など（※1）	55,000円	110,000円	+ 55,000円
一般企業	330,000円（※2）		+ 165,000円

※1 原則的に非営利活動の展示を想定しています。商品・サービス等を販売する場合は、売上の10%を出展料等としてお納め下さい。
また、企業名を組織名称に含む団体、役員の半数以上が特定の企業等の関係者により構成される団体は、一般企業枠でお申込下さい。

※2 「一般企業」枠での出展企業・団体には、公益性のあるプログラムである場合は、主催者と連携して以下の企画が実施できます。

■出展テント横でのワークショップの実施（スペースの調整）

（みどりや木とのふれあいに関連する参加体験型のワークショップである場合。以下のテントのスペースに限らず、調整します）

※時間・場所に限りがありますので、主催者と協議のうえ決定させていただきます。予めご了承ください。

※いずれも、WEBサイトや当日プログラム等において、実施内容をご紹介させていただきますので、プログラムのPRも行えます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、飲食の提供は禁止とさせていただきます。飲食を併う出展はご遠慮ください。

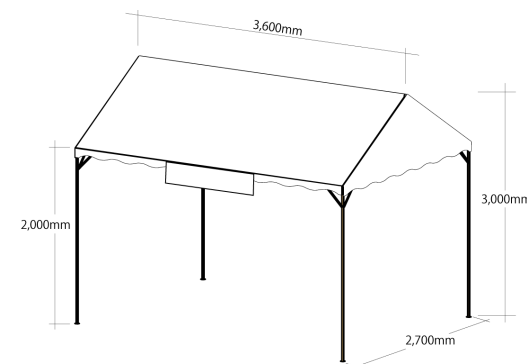
基本設備（出展料に含まれるもの）

◎ 1小間：2.7m×3.6mテント

◎ 基本設備(1小間)： ・ テーブル（45cm×180cm×72cm テーブルクロス付き）×2台
・ 折りたたみイス×3脚 ・ 社名板（150cm×25cm）×1枚

出展料とは別に料金が発生するもの

◎ 上記以外の設備等使用を希望される場合（3月中旬までに配布する出展者マニュアルで、ご案内いたします。）



・ ご出展をせずに、ご協賛のみをお考えの場合は、別途ご相談ください。

● 出展申込方法

◎ホームページから出展申込書をダウンロードして頂き、必要事項をご入力の上、Eメールにてみどりの感謝祭運営事務局までお送りください。お申込み受付後、Eメールでご連絡させていただきます。

※ Eメールでのやり取りが難しい場合は、電話又はFAXで直接請求して下さい。

※ 期限内に出展申込書をご提出いただけない場合、出展取り消しとさせていただく場合があります。

◎出展申込み受領後、事務局より出展料のご請求書をお送りします。

出展料及び備品料（オプション）は、ご請求書に記載する口座へ2022年4月22日(金)までにお振り込みください。なお、請求書は4月上旬に発送予定です。

締切	出展お申込み	2022年3月11日（金）
	出展料・備品料お振込み	2022年4月22日（金）

※組織内の手続き等の関係で、上記期限が難しい場合は、事務局までお問合せ下さい。

みどりの感謝祭運営事務局

TSP太陽株式会社

担当：齋藤・伊藤・三浦

〒153-0043

東京都目黒区東山1-17-16

TEL：080-7081-0556

（9:30～17:00 土・日・祝日を除く）

FAX：03-3719-0953

E-mail：kanshasai2022@tsp-taiyo.co.jp

URL：https://midorinokanshasai.com/

● お申込みにあたっての注意事項

みどりとふれあうフェスティバルへのお申込みにあたって、以下の点をご注意ください。

◎各出展者の小間の位置は、出展内容などにに基づき主催者が決定します。

決定後、事務局よりご案内致します。予めご了承ください。

◎出展内容により、出展をお断りする場合があります。

◎出展申込受理後のキャンセルはできません。出展者の止むを得ない事情により、出展のすべてまたは一部の取り消し・解約する場合は、書面にて事務局まで届け出てください。

◎展示スペースには限りがあるため、主催者が募集する展示規模に達した際は、申込締切日よりも前に出展申込みを締め切る場合があります。

◎天災、厄病、その他の不可抗力の原因などによりフェスティバルの開催を中止することがあります。予めご了承ください。

◎事務局で撮影した写真等は、ホームページやパンフレット等に使用する場合がございいますので、あらかじめご了承ください。

◎出展申込みが3月11日(金)を過ぎる場合、各種普及啓発ツールにおける出展者名等のご紹介ができかねますので、あらかじめご了承ください。

【出展に関する主なスケジュール】

3月11日（金）	出展申込締切
3月中旬	出展者マニュアル送付
4月1日（金）	備品等申込締切
4月22日（金）	出展料入金締切
5月11日（水）	主催者搬入・施工
5月13日(金)PM	出展者搬入・施工
5月14日（土）	開催時間 11:00～17:00
5月15日（日）	開催時間 10:00～16:00 ※最終日は16時に閉場し、撤去

森林づくり国民運動「フォレスト・サポーターズ」が呼びかける 4つのアクションの区分でゾーニングを行います。

「フォレスト・サポーターズ」とは？

「フォレスト・サポーターズ」は、平成19年にスタートした「美しい森林（もり）づくり推進国民運動」の一環として林野庁等が推進する枠組みで、林業関係者や農山村に暮らす人々だけでなく、都会に暮らす一人ひとりが森のための行動を行うことを呼びかける国民運動です。

「身近なことから、できることをはじめてみよう」を合言葉に、「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」の4つのアクションを呼びかけており、企業・団体から個人まで幅広い方々の参加を呼びかけています。

本フェスティバルは、「フォレスト・サポーターズ」による国民運動の中核的な行事として開催されることから、未登録の団体は、この機会に是非ともご登録下さい。（登録料は無料。WEBフォームで、簡単にご登録いただけます）

また、出展する内容に該当する区分を、下記のアクションからお選びいただき、申込書へご記入ください。



「フォレスト・サポーターズ」

URL : <http://mori-zukuri.j>



※簡単な手続きでフォレストサポーターズにご登録頂けます。（ご登録は無料です。）

THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development

《特典》上記HP内の賛同企業・団体一覧への掲載、イベントの告知・報告、連動イベントの実施、ロゴマーク・アイコンの利用など。

ACT 1 森にふれよう

森で行われるイベントや活動に
参加してみよう。



ACT 2 木をつかおう

間伐材などの国産材でつくられた
製品をつかってみよう。



ACT 3 森をささえよう

募金やボランティアをしたり、
ふるさとの森を手入れしよう。



ACT 4 森と暮らそう

農山村の暮らしにふれたり、
森で働いてみよう。



「フォレスト・サポーターズ」の活動で、SDGsに貢献しよう！

● 2019年の「みどりとふれあうフェスティバル」の様子



みどりの感謝祭運営事務局
(出展者/協賛者からの問い合わせ先・申込書送付先)

TSP太陽株式会社

担当：齋藤・伊藤・三浦

〒153-0043 東京都目黒区東山1-17-16

TEL：080-7081-0556（9：30～17：00 土・日・祝日を除く）

FAX：03-3791-0953

E-mail：kanshasai2022@tsp-taiyo.co.jp

URL：https://midorinokanshasai.com/

みどりの感謝祭運営委員会

【事務局】

公益社団法人 国土緑化推進機構

担当：政策企画部 林

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館5F

TEL：03-3262-8437 FAX：03-3264-3974

林野庁 森林整備部 森林利用課 山村振興・緑化推進室

担当：鈴木・梅田

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL：代表 03-3502-8111（内線6217）

直通 03-3502-8243